

バナナ・トラップも仕掛けてみたが、ほとんど効果を発揮しなかった。また、幼虫の餌となる良好な朽ち木もあまり見当たらず、成虫の餌場である樹液の出るクリ・カシ類も細く、得られた個体は各種とも小型のものがほとんどであった。林道の側溝に落ちたコクワガタ・スジクワガタ以外は、個体数も少なかった。ただしミヤマクワガタ・ノコギリクワガタに関しては、出現の末期にあたったことを考慮しなければならないだろう。そして何より、ヒラタクワガタの♂を手にすることができなかったのが残念である。

隠岐のように周りから離れ面積もそれほどでない島では、クワガタムシを許容する自然がそれほど大きく豊かではないという印象である。隠岐のクワガタムシの全体像を見ることができる日を待ちたい。

参考文献

門脇久志(1983) 隠岐島の甲虫類目録, すかしば20:3-20.

藤田 宏(1985) 日本のクワガタムシ, パーフェクトシリーズ20, 講談社.

岡島秀治・山口 進(1988) 検索入門 クワガタムシ, 保育社.

チビクワガタの採集記録

上田尚志

サクラの朽木より得られたチビクワガタについて、採集記録と産出状況を報告しておきたい。

<和田山町枚田岡>

円山川の支流に沿った土手にサクラ並木があり、ここにチビクワガタが生息する。発見当初は、いずれも地面に落下した、かなり腐朽が進んだ朽木より得られていた。その後、このサクラ並木を調査したところ、地上部の枯れ枝より多数の個体を得ることができた。

採集記録：1988.Ⅱ.2,13頭；1988.Ⅳ.5,2頭；1988.Ⅳ.23,1頭；1988.Ⅴ.3,22頭,
山崎喜彦採集：1989.Ⅰ.6,6頭；1989.Ⅰ.17,4頭,ただしIRATSUME
12で報告したデータは省く

<豊岡市妙楽寺>

標高60m前後の丘陵地の尾根伝いに、遊歩道のついた、やや開けた空間があり、ツツジやサクラがみられる。ここのチビクワガタは、1本のサクラの古木より得られたものである。いずれも、落下後それほど時間はたっていないと思われる朽木から得られた。

採集記録：1988.Ⅰ.31,1頭；1988.Ⅲ.13,1頭；1989.Ⅰ.4,6頭

<豊岡市山本>

標高80m,眼下に円山川を見下ろす丘陵。神社に続く道にサクラが数本。立ち枯れの主幹の樹皮下に、多数の個体をみることができた。

採集記録：1989.Ⅳ.5,5頭

<豊岡市神武山>

標高50m,周囲を市街地に囲まれた小さな山。サクラは多いが古木は少ない。かなり衰弱したサクラの主幹の腐朽部より得られた。

採集記録：1990.Ⅰ.5,2頭



中央の枯れ枝に生息



本種が得られた朽木